

小委員会の調査報告書

教科名	社会	委員長名 山本真司
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月13日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、社会(地図)小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 6月14日(水)から7月11日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月12日(水)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。 なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東書、教出、日文の3者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取り扱い内容・内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮事項等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
調査研究に当たつての配慮事項	<p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について 上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少數意見その他		

様式 2

教科名		社会科				
取扱内容・構成・配列	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	東京書籍	新編 新しい社会	305 405 505 506 605 606	教育出版	小学社会	307 407 507 607
1 各学年、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。				1 各学年、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。		
○第3学年では、市の地形や土地利用など、市の様子を学習するなかで、自然環境の保全が地域社会の発展につながることに気づけるようになっている。地域の安全を守ることに関して、自分たちにできることを話し合い、標語を作成することで、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようになっている。				○第3学年では、地域や市の地形や土地利用、緑地の分布について学習することを通して、自然環境の保全が大切であることに気づくことができるようになっている。また、消防署や警察署で働く人たちが、地域の人々と協力・連携して安全を守っていることを学びながら、正義と責任、公共の精神を重んじることが大切であることに気づけるようになっている。		
○第4学年では、「水」「ごみ」とも、小单元の最後に「いかす」学習段階の紙面を見開きで掲載し、児童自らがよりよい社会の形成について考えたり、社会に参画する態度を養ったりすることができるようになっている。伝統的な技術を受けついできた地場産業を学習することで、伝統と文化を尊重し、地域への愛着を深めることができるようになっている。				○第4学年では、県の地形や土地利用について学習することを通して、自然環境と人々の暮らしの関わりに気づくことができるようになっている。また、自然災害から暮らしや地域を守るために、行政や自治会、民間企業などが協力して対策に取り組んでいることを学習しながら、主体的に社会の形成に参画する態度が養われるようになっている。		
○第5学年では、米づくりの学習の中で庄内平野の気候や地形について扱い、農業は環境と深いつながりがあり、環境保全が産業の発展に寄与することに気づけるようになっている。国土を保全する森林の働きについて学ぶことを通し、豊かな森林資源を守っていくことの大切さに気づくとともに、自分たちにできることができと考えられるようになっている。				○第5学年では、国土の自然環境と暮らしの関わりについて気づけるようにして、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度が養われるようになっている。また、企業・行政・市民が協力・連携して公害の防止に努めてきたことを学習して、社会的な責任を果たすことや公共の精神を重んじることが大切であることに気づくことができるようになっている。		
○第6学年では、我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考えに基づいており、国民が相互の権利を尊重し、義務を果たしながら、平和で民主的な国家の形成に参加していることとに気付けるようになっている。学習内容に応じ、我が国の代表的な文化遺産や身近な地域の歴史事象を積極的に取り上げ、我が国や郷土の伝統や文化への理解を深めるとともに、それらを尊重する態度を養えるようになっている。				○第6学年では、我が国の先人が、それぞれの立場から当時の課題を解決することを通して人々の願いが実現されていったことを、囲み記事なども使って取り上げて、我が国の歴史や文化を尊重し、誇りと愛情が育まれるようにしている。また、導入ページを設けたり障害者差別解消法を追究の軸にしたりするなど憲法への関心と理解を深められるようにして、国民の権利と義務や平和で民主的な国家の形成について考えられるようになっている。		
2 内容の構成・配列については次のような工夫がされている。				2 内容の構成・排列については次のような工夫がされている。		
○第3学年では、「まとめる」場面では、絵地図・新聞・カード・表など、多様な表現活動を提示し、指導要領の教科目標にある「公民としての資質・能力」を育てる工夫をしている。				○第3学年では、生活科からの接続に生かせる特設ページがあり、探検や観察など、生活科の学習活動を振り返りながら、社会科への関心や期待を高めることができる工夫がされている。		
○第4学年では、・県内の特色ある地域を取り上げる中で、様々な仕事やまちづくりなどの社会的活動にかかる人の姿を「○○さんの話」として随所に取り上げ、共感的な理解をうながすよう工夫している。				○第4学年では、「人々の健康や生活環境を支える事業」や「自然災害から人々を守る活動」などの単元については、地域の実態等に合わせて取り扱う内容を選択できる構成となっている。		
○第5学年では、広い視野から社会的事象の成り立ちや意味を理解したり、自分の生活とのかかわりを考えたりする能力と態度を身につけられるよう、必要に応じて「ことば」欄を設けて学習や生活の基盤となる重要な言葉を抽出し、説明文を付して提示している。				○第5学年では、「自分で調べて考えるページ」が掲載されており、児童一人一人が自分で資料を選び、「ポイント」を手がかりに読み取り考察して、みんなで共有するという学習が行える構成となっている。		
○第6学年では、学習の成果を生かし、多様な意見を取りまとめることについて話し合う場面を設定し、児童自らがよりよい社会形成について考えができるようになっている。「世界の未来と日本の役割」では、世界のさまざまな課題をSDGsの目標と関連づけて学習できるようになっている。				○第6学年では、歴史単元の導入部を「参政権の拡大」という視点で構成しており、「選挙は、どのような仕組みで行われてきたのか」といった問い合わせから、人々の社会参画が広がっていく歴史の展開への関心が高められるように構成されている。		

<p>○寒い土地の暮らしに関わる学習において、雪と共に暮らす札幌市民の事例を掲載したり（第5学年）、近世の歴史の学習において、アイヌの人たちの伝統や文化を守る取組を写真等で掲載したり（第6学年）するなど、北海道宗谷管内にクラス児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○見開きページに「まなびのポイント」を設けたり（全学年）、「見方・考え方」の図慮みを設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう等な工夫がなされている。</p> <p>○教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 弱視や、読みに困難さがある学習障がいの子どもにも読みやすく配慮した「UDデジタル教科書体」を使用している。 色覚の個人差に配慮したカラーユニバーサルデザインに基づく配慮がされている。 現在の学習場面を確かめられる「インデックス」が設けられているなど、分かりやすく活用しやすい紙面デザインになっている。
<p>○第5学年については上下巻、第6学年については政治・国際編と歴史編と分冊に持ち運びの際負担が軽減される工夫がなされている。</p> <p>○1人1台端末の実現に伴い、教科書の各所にQRコンテンツを収載し、子どもの学びを広げる工夫がなされている。</p>	<p>○学習者用デジタル教科書が発行されている。</p>

様式2

教科名	社会					
取扱内容・構成・排列	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	日文	小学社会	308 408 508 608			
1 各学年、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。						
○3学年では、市を中心とする地域社会に関する内容には、地図や写真を用いて地域の土地の様子や地域で働く人々について調べたり、消防署や警察署などの地域の安全を守る働きについて調べたりする活動が取り上げられている。市の様子の移り変わりの学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、市の交通網の発達について調べたり、市の土地利用や暮らしの変化について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げている。						
○4学年では、県を中心とする地域社会に関する内容について、風水害や地震、津波などの自然災害から人々を守る活動について調べたり、伝統芸能や文化財、用水路の開発など、地域の発展に尽くした人々について調べたりする活動が取り上げられている。人々の健康や生活環境を支える事業の学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、ごみの処理の仕方について調べたり、ごみを減らすための取組について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動を取り上げている。						
○5学年では、我が国の国土と産業に関する内容について、地球儀や地図帳を用いて北方領土等の日本の国土の様子について調べたり、米作りに関わる人々の安全性や生産性を高める努力について調べたりする活動が取り上げられている。我が国の工業生産の学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、工業地帯や工業地域の分布について調べたり、これから工業の発展について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動						
○6学年では、我が国の政治と歴史、国際理解に関する内容については、目標を達成することができるよう、待機児童の問題への取り組みや税金の働きから我が国の政治の働きについて調べたり、第一次世界大戦後の日本の様子や政策などについて調べたりする活動が取り上げられている。グローバル化する世界と日本の役割の学習において、学習問題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本とつながりの深い国の様子や人々の生活について調べたり、国と国との間の交流について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。						
2 内容の構成・排列については次のような工夫がされている。						
○第3学年では、地域に見られる生産や販売の仕事については、工場で働く人々の仕事の様子や農家の人々の仕事の様子の事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫						
○第4学年では、自然災害から人々を守る活動については、地震や津波、火山の噴火に対する取組や雪害に対する取組の事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫						
○第5学年では、我が国の国土の様子と国民生活については、気候に特色のある地域に住む人々の生活や地形に特色のある地域に住む人々の生活の事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫						
○第6学年では我が国の政治の働きについては、豪雨災害からの復旧や復興に向けた政治の取組や公害を教訓にした地域活性化に向けた政治の取組の事例を取り上げるなど、地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、系統的・発展的に学習できるような工夫						

使用上の配慮等	<p>○地域の発展に尽くした人々に関する学習において、日本で最初の女医である萩野吟子が北海道で活躍した事例を掲載したり（第4学年）、寒い土地の暮らしにかかわる学習において、旭川市の農業や観光について掲載したり、（第5学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○巻頭に「社会科の学習の進め方」を設けたり（全学年）、学習活動に合わせて「学び方・調べ方コーナー」を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、すべての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

小委員会の調査報告書

教科名	社会（地図）	委員長名 山本真司
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月13日（火）に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、社会（地図）小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 6月14日（水）から7月11日（火）まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月12日（水）に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者（略称）は、東書、帝国の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取り扱い内容・内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮事項等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
調査研究に当たつての配慮事項	<p>1 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の發揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>(3) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>2 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>3 「その他」について</p> <p>上記1、2に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少數意見その他		

様式 2

教科名		社会（地図）				
取扱 内容 、内 容の構成・排列	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	東京書籍	新しい地図帳	303	帝國書院	楽しく学ぶ小学生の地図帳	304
1	社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「地図帳の使い方」については、方位磁針を用いて身近な方位を調べたり、地図のきまりを使った地図づくりに取り組んだりする活動 ○「日本の全図」については、日本の東西南北端を調べたり、都市と都市との間の距離を調べたりする活動 ○「日本の地方図」については、本州から九州へ渡る交通路を調べたり、北陸地方の伝統工芸を読み取ったりする活動 ○「世界の地図」については、世界で一番高い所と深い所を調べたり、北極海を囲んでいる全ての国を調べたりする活動 ○「資料・統計」については、日本の最大の貿易相手国を読み取ったり、太平洋ベルトにみられる工業地帯や工業地域が海に面している理由を考えたりする活動	1	社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「地図帳の使い方」において、縮尺を用いて実際の距離を調べたり、方位や地図記内号などを用いた宝探しに取り組んだりする活動 ○「日本の全図」において、富士山がある県を調べたり、東北地方の大きな祭りや伝統行事を調べたりする活動 ○「日本の地方図」において、中国地方で一番高い山の高さを調べたり、沖縄島で栽培されている果物を読み取ったりする活動 ○「世界の地図」において、本初子午線上に都市記号がある国を調べたり、オーストラリアでたくさん採れる原料品を調べたりする活動 ○「資料・統計」において、日本が世界各地に輸出しているものを読み取ったり、田が広がっているところの地形の特徴を考えたりする活動			
2	主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ○日本列島全体の災害地図を掲載し、災害の起きる要因や防災対策について考察したり、日本と世界の歴史地図を掲載し、同時代の世界の様子を参照しながら学びを深めたりする活動	2	主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「防災マップ」の具体的な作り方を掲載し、自らの身を守るために何ができるかを考えたり、比較・関連させて考察できる資料を掲載し、社会的な見方・考え方を働きかせたりする活動			
3	内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ○「日本の各地の気温と降水量」や「地域による農業生産のちがい」など、各種の基礎的な資料を掲載し、基礎的かつ基本的な知識・技能を活用して課題を追究できるような工夫 ○世界と日本のイントロダクションとなる地図に始まり、日本列島を見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界地図、世界の州ごとの地図、資料図、統計資料、索引と系統的に配列され扱いやすい構成にする工夫 ○日本の地形や気候、自然災害の資料図は理科、世界の料理や日本の郷土料理の資料は家庭科など、他教科でも活用できる工夫	3	内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ○「江戸時代の結びつき」や「日本の世界遺産」など、歴史の学習で活用できるテーマ地図や資料図を掲載し、歴史事象を地理的な空間の広がりと結び付けることで深い学びを実現できるような工夫 ○社会的な見方・考え方を働きかせる地図、水道・刊行・産業・防災などの学習要素を押さえた都市圏図、比較・関連させて考察できる資料を多く配置し、社会的な見方・考え方を働きかせられる工夫 ○歴史学習で活用できるテーマ地図や資料図、外国語活動・外国語の学習に対応した英語表記や音声コンテンツを設置、国語科や音楽科でも活用できる要素を掲載し、他教科でも活用できる工夫			

使用上の配慮等

- 冒頭の世界地図に、世界の国の「ありがとう」の言葉などを掲載したり、日本地図使に、各都道府県からイメージされる特産品などのイラストを掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
- キャラクターが地図の基本を解説したり、「ホップ↑ステップ↑マップでジャンプ配↑」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。また、QRコンテンツには、クイズや動画で地図のきまりあ都道府県名、地名などの習得に取り組めるコンテンツを収穫している。
- 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、地形がわかるドローン動画を活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
- 3年生からの使用をふまえ、地図の仕組みや約束事をわかりやすく解説し、日本の位置や範囲、領土に関する問題、自然災害と防災について正確な理解が図れるようにしている。また、中学校の地図帳との接続を見据えて、内容を充実させている。
- 地図の見方を示唆したり、活用を促したりするキャラクターを掲載したり、世界全図では、世界のあいさつを二次元コードの音声コンテンツと併せて掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
- 「トライ！」「地図マスターへの道」を設けたり、巻末に「地図マスターへの道」のまとめを掲載したりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。
- 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、47都道府県のクイズを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
- 3年生からの使用に対応し、生活科と社会科の懸け橋となるイラストを入り口に、方位や地図記号などの「地図のやくそく」、索引や縮尺などの「地図帳の使い方」までを段階的かつ丁寧に扱う工夫がされている。

その他

- 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。
- 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。